



Atsuko Kudo Mail Magazine 191

2013.01.30 ●よきカに守られて

●「緊張」と「緩和」(近況報告)

お元気でいらっしゃいますか？

もう一月の最後になってしまいましたが、今月の7日に、無事にハンブルクに戻りました。

アルジェリアのテロ事件のことでは、毎日ニュースの報告を追ってきました。日本人10人を含め、多くの方々が犠牲になり、非常に心を痛めています。大変な時代に生かされていることを、痛みをもって覚えます。心を引き締めて、地に主のみこころが成りますようにと切に祈り求めて行かなければならないと思われています。

さて、私ごとですが、日本で50肩の治療をしてくださった先生のアドバイスに従い、こちらに戻ってから、生活を大きく変えました。午前中のゆったりとした主との交わり以外は、ほぼ一時間ごとに10分~15分の休憩を入れ、一日数回の散歩、休息の時の軽い体操、また12時前には必ず就寝するなど、家に引きこもって何時間も集中して仕事する夜型人間の私にとっては、画期的な変革です。

けれども、定期的に机の前を離れて体をリラックスさせることが生活の一部になると、逆に、短時間でパソコンに向かう仕事が以前より集中出来るようになったようです。気持ちをリラックスさせ、祈り賛美し、軽く体を動かして血流が良くなると、仕事に戻った時には、頭もすっきりしています。

「緊張」と「緩和」、私たちの体のしくみ——呼吸、心拍、脈拍、血液の循環作用——の「緊張」と「緩和」によるバランスの取れたリズム、それが神の創造の秩序のひとつです。生活も、常に「緊張」と「緩和」のバランスを取る大切さを、今に至ってやっと学んでいるところです。

●よき力に守られて

さて、昨年のコンサートのプログラムで最も人々の心をつかえたのは、ボンヘッファーの「よき力に守られて」でした。コンサートをさせていただいた多くの教会が、この歌に感動して、礼拝でも歌ってくださるようになりました。日本だけでなく、アメリカでも台湾でも ANRC 大会でも、多くの方々が「感動した、心に響いた、たましいをわしづかみにされた」と、年配の方から若い方まで楽譜を求めて来られました。私自身も、2012 年は、「よき力に守られて」始まり、「よき力に守られて」終えた一年でした。

3.11 以来、日本は変わりました。苦しみを知り、苦しみと向き合って生きようになりました。私の昨年の最後のコンサートは、被災地、仙台でのクリスマス・コンサートでした。この日も「よき力に守られて」を歌い、主の大きな導きを感じながら、苦しみの中に注がれる神の慰めと十字架の恵みを、口からあふれ出るように語らせていただいた時でした。コンサート後、アンケート用紙を提出された約一割の方が、「キリストを信じたい」と表明されていました。その方々が確かな救いへと導かれ、「よき力に守られて」歩むことが出来ますようにと心から祈っています。

被災地では、国内外の多くのクリスチャン・ボランティアの方々が、直接福音は語らずとも、黙々と支援活動を続けてきました。被災地の方々は、ボランティアの方々が、奉仕を始める前もまた去る時にも、手を組み頭を垂れて、奉仕した家と、その地域に神の助けと守りを求め、また神に感謝を捧げて祈る姿を見て来ました。彼らの尊い愛の働きのおかげで、今、クリスチャンは、被災地の方々に大きな信頼を得ています。ある牧師先生は、「これから、地元の教会の私たちが刈り取りをさせていただく番です」とおっしゃっていました。今、ほとんど教会がなかった東北沿岸漁村地区に教会や集会が始まったり、クリスチャンセンターが建てられたりしています。

被災地は未だに先が見通せず、山積みの課題を抱え、深刻な問題が常に浮上しています。しかし、解決が見えない混沌とした中で、確かに神のみわざは進んでいます。私には、被災地で成されている神のわざと、ドイツの宗教改革時代が重なるのです。農民戦争が起こり、貧困と不衛生によってペストが流行り、人口の3分の1が死に絶えた激動の中で、宗教改革は、神の御手によって進んで行きました。今、被災地でも、神の御手が力強く働いています。

今年も、「よき力に守られて」、御旨に従い、闇の中にともしびを運ぶ器とさせていただきたいと祈り願っています。

よき力に守られて

Dietrich Bonhoeffer

1. よき力にわれ囲まれ 守り慰められて
世の悩み共に分かち
新しい日を望もう

*よき力に守られつつ 来たるべき時を待とう
夜も朝もいつも神は われらと共にいます



2.過ぎた日々の悩み重く なおのしかかる時も

さわぎ立つ心しずめ 御旨に従い行く

*

3.たとい主から差し出される 杯は苦くとも

恐れず感謝を込めて 愛する手から受けよう

*

4.輝かせよ 主のともしび われらの闇の中に

望みを主の手にゆだね

来たるべき朝を待とう

*



※ボンヘッファーと「よき力に守られて」に関しては、次の URL (昨年発行した NL45 号 2~3 ページ目) を開いてお読みいただくことが出来ます。

<http://atsukokudomm.com/pdf/newsle46.pdf>

※「よき力に守られて」の日本語歌詞の楽譜は、日本バプテスト連盟の新生讃美歌に入っています。「善き力にわれ囲まれ」というタイトルです。

●お祈りください

いよいよ今年から、賛美レッスン、セミナーを始めたく、準備を進めています。どうぞお祈りください。

ドイツでも体の治療を続けていますが、50 肩とそれに伴う首や関節の痛みは、確実に回復に向かっていきます。

皆さんのお祈りに、心から感謝いたします。

寒さの中、主が皆様の健康守り支えてくださいますように！

2013 年、皆様の上に、主の溢れる恵みと祝福をお祈りしています。

Atsuko Kudo



冬空のハンブルク市庁舎。

メルマガ・トップの写真は、ハンブルク市庁舎一階ロビーの展示場。ハンブルクでは、毎年、1月からドイツ終戦記念日の5月8日まで、ナチス被害者の記録を展示する。今年のテーマは「ナチズムの犠牲者」。特に、軍部の中で、勇敢に体制に反対して犠牲になった人たちの記録がパネル展示されている。